

東京サレジオ学園北側の土地売却とその後の大規模開発



国の方針である「家庭的養護の推進」を背景に、東京サレジオ学園北側の土地約9千㎡が売却され、購入した事業主から土地利用構想が示されました。最低限の敷地面積で宅地が並び、市や都の整備基準で原則設けないこととされている行き止まり道路が全長約240m

続く案です。周辺住民が自主的協議を求めても事業主が断り続け、条例の責務「市民とともにまちづくりを行う」が守られていないため令和4年9月に一般質問で問いました。その後事業主から改案が示されたものの話し合い不足等が露呈し軋轢が生じていましたが、11月末にやっと自主的協議が始まることに。まちづくりには話し合いが不可欠です。市の条例や運用上の不備も明らかになったため、12月一般質問で改善提案しています。

小平市議会議員
無所属・一人会派の会

安竹 洋平 (44)



略歴

- ・私立明星学園小・中学校卒業
- ・東京都立西高等学校卒業
- 柔道部、生物部、物理部、宇宙研究部
- ・東京工業大学理学部物理学科卒業
- ・東京工業大学大学院理工学研究科修了
- 物性物理学：半導体超格子系のラマン散乱
- ・ソニー株式会社 - コンサル系、SAP APOマクロ作成
- ・蓄電池ベンチャー企業 (ACT)
- ・2008年宇宙飛行士ファイナリスト
- ・国際規格コンビナー (IEC 62813)
- ・英語の会主催
- ・ソフトウェアエンジニア
- ・令和元年 小平市議会議員に(1期目)
- 元公聴広報特別委員会副委員長／元厚生委員会委員
議会運営委員会委員／環境建設委員会委員

趣味

旅行／自転車／アウトドア／プログラミング／ものづくり
／読書(小説家で一番好きなのはドストエフスキー)／映画
(『アンダーグラウンド』、『きっと、うまくいく』、B級映画全般)／弓道／乗馬／語学(英語：困らない程度、中国語：シーヤンヤンで勉強中)／書写／3Dプリンター

発行：情報と政治をフラットに「ふらっとねっと」 ✉ yasutake@yasutakeyohei.com TEL/FAX 042-313-6780

ふらっとレポート

小平市議会議員安竹洋平の
最近の主な活動をお知らせします。

令和4年度
秋冬号



記録更新が続く旧佐川邸の公園整備

ふるさと納税の歴史的記録など歳入4千万円増と、一歩進んだ市との協働

情緒固定級 理想の開設に向けて

ご署名ありがとうございました 四小で設置が決まり次の段階へ

放課後等デイサービス 決議が補助金に

昨年提出し全会一致の決議が奏功し補助金が支給されます

全会一致のマスク・黙食請願 その後

ご署名ありがとうございました

いじめ重大事態 全市立学校サイトに記載

小平市いじめ防止基本方針も改訂へ

重大事態の周知は一気に先進市レベルに

小平市議会議員

小平市議会まとめ

安竹の主張まとめ

ディスレクシアまとめ

安竹 洋平

このレポート内容について
より詳しくはこちらへ



yasutakeyohei.com

旧佐川邸の公園整備 実施設計の大詰めへ

上水南町2丁目に、武術の大家、佐川幸義氏の邸宅兼道場跡地があります。佐川氏のご子息が、この土地と、現金約3千万円を市に遺贈されました。安竹が筆頭紹介議員を務めた請願が賛成多数で採択され、市がその内容等に基づいて、ふるさと納税の活用など画期的な取り組みを行っています。住民や道場関係者等による「旧佐川邸の公園化を考える会」が中心となり、これまでにない市との協働体制のもと、整備計画が進んでいます。

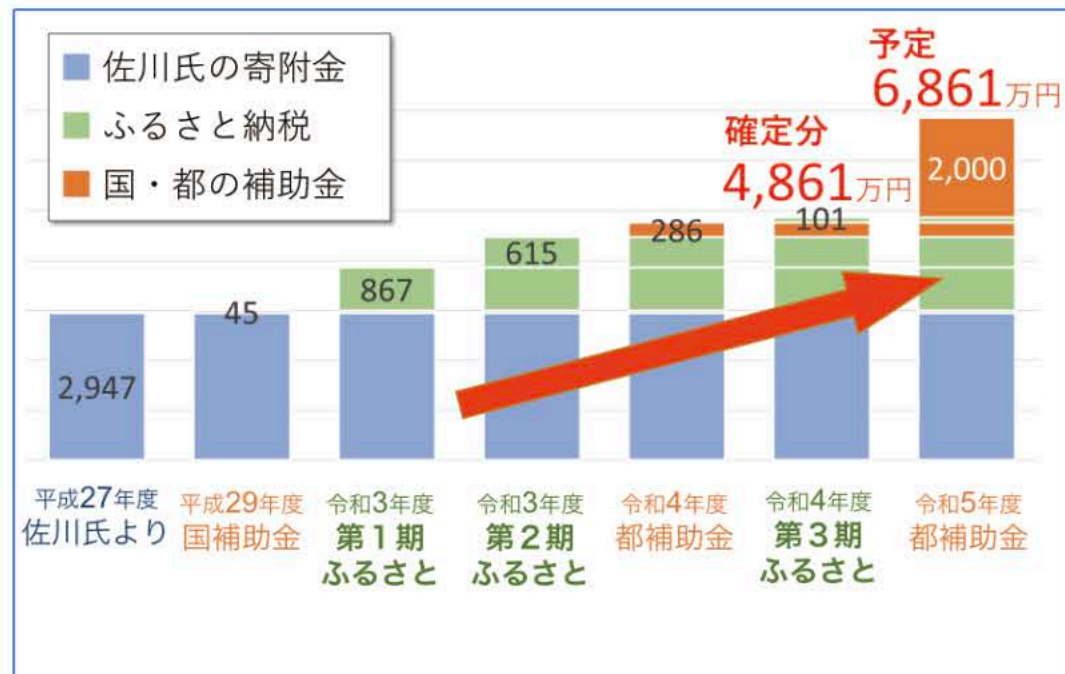
歴史的な新記録!!

画期的
取り組み

- ✓ ふるさと納税で1,583万円超
- ✓ 市民主催のワークショップ
- ✓ 一歩踏み込んだ市との協働
- ✓ 新たな補助金の活用

☑ 寄附金と補助金で約7千万円（さらに土地分は推計で3億円超）

この公園のために寄せられた寄附金と補助金（歳入予定含む）の合計は6,861万円にも上ります。また、寄贈土地の実勢価格を路線価から推定すると約3.5億円にも上ります。大変感謝しています。



ランドスケープデザイナーの鈴木綾氏が、無償で、大変なご尽力をくださいました。



☑ メディア等での紹介

JCOM、読売新聞、雑誌秘伝、「連」、ひばりタイムスなど、さまざまな媒体で、会や道場関係の方が紹介してくださいました。右の写真は、妻の実家のテレビに映り、ニヤける私。考える会のサイト作成や、毎回の会議録作成などもお手伝いしています。



☑ それでも約2千万円足りないとして、市は1区画売却予定ですが...

市は当初、ふるさと納税の活用をかたくなに拒み、道場関係者への対応も冷たいものでした。その後、現市長（議員時代）にも紹介議員になっていただいた請願が採択されたことや、職員の入替えがあったことなどで事態が好転。方針が大転換され、予定外の歳入約4千万円が得られることになりました。しかし、それでも約2,200万円不足するとして、市は土地の1区画（北側）を売却の予定です。しかし、この金額で同じ土地は買えません。平櫛田中氏と同様に、佐川氏は市の歴史的人物だと私は思います。少しでも予算化を検討してほしいものです。

こちらに詳しく
まとめています



情緒固定級が設置されることに！

令和3年9月、自閉症・情緒障害特別支援学級（情緒固定級）の設置を求める請願が採択されました。ご署名ありがとうございました。お母様方からご相談を受け、筆頭紹介議員を務めました。おかげさまで、市はすぐに検討を進め、まず、令和6年4月に、小平第四小学校に開級すると決定しました。中学校も、令和7年4月に開級予定（設置校は未定）です。



採択見込み後、追加の署名依頼

この情緒固定級は、主に発達障害をもつお子さんが対象となる、定員8名のクラスです。みんな同じクラスで学ぶというインクルーシブ教育は理想ですが、現実には理想から遠い状況です。支援体制が不十分なため、本来得られるはずの学びの機会が失われたり、不登校になるなど、困難に直面しているお子さんが、小平市に現実に何人もいます。情緒固定級は、そうした子どもたちの有望な選択肢のひとつになります。

☑ 情緒固定級が分断につながるというのは誤解

定員8名のクラスは手厚い環境です。自治体によっては、情緒固定級に在籍しながら通常学級で多くの授業を受けている例もあります。また、情緒固定級の支援が通常学級に波及する効果も期待できます。多くの方の声を伺い、先進市の事例を見てきました。現実困っている子どもたちを見過ごさないために、情緒固定級が今すぐにでも必要と感じます。

☑ お母様方の会から送迎バス要望書が提出されました

情緒固定級の利用を検討しているお子さんのお母様方が「まんまる会」という市民団体をつくられました（現在会員25名）。令和4年6月末、この会が、市へ送迎バス運行の要望書を提出しました。市には交通の課題があります。要望書では、公共交通機関での移動が困難なお子さん通えるよう、国分寺市と同様に、小1から小6までの送迎バス運行を求めています。

まんまる会

まんまる会は、お子さんが情緒固定級の利用を
考えられている方なら誰でも参加できる保護者の会です
<https://misaki2893.wixsite.com/manmaru1>



情緒固定級が設置される第四小を中心に半径1kmの円を描くと右上図になります。市内は横に広く移動が大変なため、国分寺市と同様、小学1年生から6年生まで送迎バスが必要と考えます。

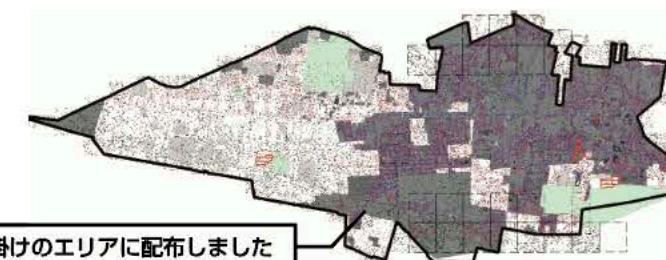
なお、市内で知的固定級のある学校を中心に半径1kmの円を描くと右下図になります。知的固定級には送迎バスがあるものの原則小学3年生まで。こちらも6年生まで使わせてほしいという要望が出ています。



読み書き障害（ディスレクシア）の周知活動

令和元年末、ディスレクシアの診断があるお子さんのお母様からご相談を受け、多くのことを教えていただきました。見た目では分からないこの困難について、理解や周知が進んでいないこと、教育環境に大きな課題があること。令和2年の市議会で訴え続けました。私も含めて人間には百人百様の特性があります。発達障害の診断名は、本来、医学上の分類のためにあるもので、レッテル貼りのためにあるものではありません。しかしディスレクシアのように見た目では分からない困難については、二次障害を防ぐためにも、診断名を示した周知が不可欠と考えます。そこで、ディスレクシアの周知を

兼ねた議員レポートを、皆様のご協力もいただきながら徒歩と自転車で市内約6万世帯へ配りました。レポートをご覧になった方々から、さまざまご相談をいただき、課題が明らかになってきました。発達障害についての理解も深まりました。今後も尽力していきます。



網掛けのエリアに配布しました

放課後等デイサービスの決議が補助金に！

令和3年夏に、市内放課後等デイサービス事業者の方々からご相談を受けました。国の報酬改定で報酬が大幅に減となり、ゆうやけ子どもクラブなどの歴史ある事業所が、これまでのような運営を続けられなくなってしまう問題です。当初、市に「請願」を出す予定でお話をいただいていたが、その後、請願はせずに、都や国に「意見書」を出すというお話に変更になりました。しかし、それでは、実効性や即応性に乏しいところがあります。

☑ 令和3年9月定例会に決議を出し、全会一致で可決

そこで、当一人会派の会の橋本議員の提案で、安竹が提出者代表議員になり、市に対して「決議」を出すことにしました。決議は議会の意思を表明するものです。市に対しての強制力はないものの、周知を含めて一定の実効性をもつものです。この決議は、令和3年12月定例会において全会一致で可決しました。その後、事業者の方々がこの決議をもとに市と話し合いをされています。

☑ この決議を受け、補助金が計上されました！

決議の可決から約9か月後、令和4年度・第4号補正予算において、この決議を受けてと明言する形で、市内の放課後等デイサービス事業所に対する臨時の補助金約2,400万円が計上されました。金額も限られ、一回限りの支給ですので、継続した支援や拡充を求める必要がありますが、決議を受けて市がひとまず動いてくれたのでよかったと思います。

(単位：千円)				
説		明		
財		源		
内		訳		
国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源
18-10 補助金（福祉団体等）				
放課後等デイサービス事業所				
□事業実施による増				
				23,831

☑ 9月定例会に請願が提出され、全会一致で採択

また、令和4年9月定例会に、放課後等デイサービスの支援を求める請願『放課後等デイサービス事業所への支援を求めることについて』が出され、全会一致で採択されました。

全会一致で採択された、子どもへの過剰な制限の緩和を求める請願

令和4年3月の定例会で、安竹が筆頭紹介議員を務めた請願*が署名2,636名分をもって全会一致で採択されました。ご署名いただきありがとうございました。この請願を受け、同4月に市はガイドラインを改訂し、子どもが苦しいと感じた時、体調が悪くなる前に無理せずマスクをはずしてもよいと指導することや、マスク着用の有無に関して偏見や差別が生じないように指導することなどが盛り込まれました。その後も改訂があり、保護者宛て一斉メール通知など、請願に沿った対応は一部なされています。しかし、国の方針より強い制限を子どもたちに課している状況は続いています。継続して訴えています。



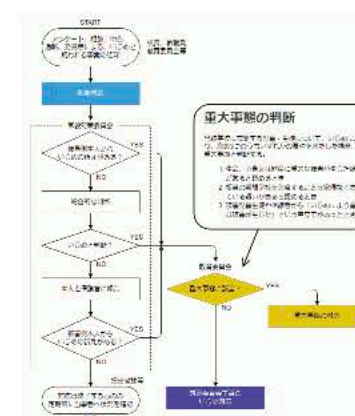
*請願第12号：市立小・中学生の健全な成長、発達のために教育活動における制限の緩和を求めることについて

いじめ重大事態の周知が大きく進みます

いじめ対応において不可欠な「重大事態」。重大事態になると、教職員が個々人で対応せず、第三者組織が調査し、報告することになります。文科省が良質なガイドラインを提供しているこの仕組みは、当の子どもたちを守るだけではなく、多く

四小いじめ防止基本方針

- ・ [令和4年度いじめ防止基本方針](#)
- ・ [いじめの重大事態とは](#)



国のガイドラインをもとに、いじめ対策フロー図もつくりました

の関係者のためにもなるものです。しかし、市はきちんと向きあってきませんでした。そのため、周知や効率化が進まず、毎回大きな問題が生じ、当事者と関係者に多大な負担を負わせています。そこで3度にわたり一般質問でも追及しました。市教委は事実と反する答弁や不誠実な答弁を続けました。しかしその後すべての市立学校HPに重大事態について必要な情報が掲載され、さらに年末には小平市いじめ防止基本方針が改訂されます。周知に関して一気に先進市レベルになりました。次は運用面の問題に焦点を当てます。